



現役医師が教える！

知って得する医療のかかり方 ～患者の視点・医師の視点の違いから～

診察室では聞けない患者の疑問に現役医師がズバリ答えます！

患者

「症状が改善されないから、大きな病院で診てもらいたい！」
「先生によって診断が違うのは誤診？」

医師

「もう少し時間があれば、患者さんの話をよく聞けるのに…」
「適切な治療をしているのに、うまく伝わらないなあ…」

会場

横浜市役所 1階アトリウム
(横浜市中区本町6丁目50-10)

入場無料

令和6年

12月22日(日)

14:00～15:30
(受付開始 13:30～)

プログラム

第1部：トークセッション

「患者と医師双方の視点から、
よりよい医療のかかり方を一緒に考えよう！」

横浜市医療安全相談窓口寄せられた相談事例から、多くの患者さんが抱く不安や疑問を、日向拓也医師(横浜市行政医師)が投げかけ、講師が回答します！

第2部：講演

「知って得する医療のかかり方」

第1部に加え、医師との付き合い方、病院の上手な利用法などを講師が詳しく解説します！

やまもと たけひと

講師 山本 健人 氏

医師・博士(医学)。外科専門医、消化器病専門医等の資格を持つ。

2010年京都大学医学部卒業。

「医師と患者の垣根をなくしたい」をテーマに「外科医けいゆう」のペンネームで医療情報サイト「外科医の視点」を開設、1300万超のページビューを記録。SNSでも積極的に情報発信し、X(旧Twitter)フォロワー数は10万人超。累計19万部を記録した『すばらしい人体』(ダイヤモンド社)ほか著書多数。



申込受付

11月11日(月)～12月13日(金) 先着150名(※当日空きがあれば参加可)

※右の二次元コードまたは裏面のFAX送信票からお申込みください。

※障害等への配慮が必要な方は、12月9日(月)までにお申込みください。



※定員に達した場合は、横浜市ホームページ上にその旨を掲載させていただきます。

🔍 **横浜市医療安全 啓発** **検索**

＜令和6年度 横浜市市民医療安全講演会＞

**現役医師が教える！知って得する医療のかかり方
～患者の視点・医師の視点の違いから～**

講演会参加申込書 (枠線内を全てご記入の上、お申込みください。)

氏名	住所	(※市外在住者のみ) 在勤・在学地
(カナ)	横浜市 区 (※市外在住者⇒ 市)	横浜市 区
性別	職業	年代
男・女・その他	会社員・公務員(団体職員)・ 自営業(個人事業主)・ パート(アルバイト)・主婦(主夫)・ 学生・無職・その他()	～10代・20代・30代・ 40代・50代・60代・ 70代・80代～

講演会の参加にあたり、障害等への配慮(手話通訳等)が必要な方へ

■横浜市電子申請・届出システムでお申込みの方

お申し込みフォームに備考欄がございますので、必要な配慮事項とご連絡先をご記入の上、お申し込みください。

■FAXでお申し込みの方

必要な配慮事項とご連絡先(メールアドレス等)をこの FAX 送信票にご記入いただき、送信をお願いいたします。または、ir-soudan@city.yokohama.lg.jp までご連絡ください。

具体的に必要な配慮事項についてご記入ください	
例：手話通訳、予約筆記 等	
連絡先 (※詳細確認のためご連絡させていただくことがあります)	例：E-mail アドレス、FAX 番号等

※記載していただいた個人情報は、横浜市市民医療安全講演会当日の受付・参加確認及び今後の講演会開催の参考として統計処理に使用します。以上の目的以外には使用しません。